■PRIMERGY 6000仕様

ペディスタルモデル

モデル	6380	6580			6780		
タイプ	—	1	2	3	1	2	3
CPU プロセッサー	インテル®Xeon® プロセッサー(2.0GHz)		インテル®Xeon® プロセッサー(2.13GHz)				
CPU プロセッサー数	1						
CPU コア数	1			2	1	2	
キャッシュメモリ	4MB		8MB				
動的オブジェクト変換機構(OCT／OOCT)	—				OCT-S	OCT-D	OOCT-Ⅱ
主記憶 基本容量	2GB						
主記憶 増設単位	—	2GB					
主記憶 最大容量	2GB	4GB ※1			6GB ※1		
ディスク 基本容量	73GB(ミラード)	146GB(ミラード)			292GB(ミラード)		
ディスク 最大容量	73GB	292GB					
内蔵I／O 標準搭載	3.5インチフロッピーディスク、DVD-RAM						
内蔵I／O オプション ※3	LTO4						
最大回線数	4		8	12	16		
無停電電源装置(UPS)	標準搭載(外付け)	標準搭載(内蔵)					
設置諸元 外形寸法 幅×奥行×高	174×690×454mm	500×871×700mm					
設置諸元 質量	最大40kg ※4	最大120kg					
設置諸元 騒音値	42.5dB	40.0dB					
設置諸元 消費電力量	最大213W	最大279W					
設置諸元 発熱量	最大767kJ／h	最大1,005kJ／h					
設置諸元 コンセント 定格・形状	125V／15A:2P接地型						
エネルギー消費効率 ※7 2011年度基準	1.9 (I区分)	2.4 (L区分)	2.3 (L区分)	2.4 (L区分)	2.5 (L区分)	3.1 (L区分)	

ラックマウントモデル

モデル	6580			6780			6980			
タイプ	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
CPU プロセッサー	インテル®Xeon® プロセッサー(2.0GHz)	インテル®Xeon®プロセッサー(2.13GHz)						インテル®Xeon® プロセッサー(2.53GHz)		
CPU プロセッサー数	1						2			
CPU コア数	1		2	1	2				4	8
キャッシュメモリ	4MB	8MB								
動的オブジェクト変換機構(OCT／OOCT)	—			OCT-S	OCT-D	OOCT-Ⅱ	OOCT-Ⅳ			
主記憶 基本容量	2GB						4GB ※1			
主記憶 増設単位	2GB						2GB			
主記憶 最大容量	4GB ※1			6GB ※1			18GB ※1			
ディスク 基本容量	146GB(ミラード)			292GB(ミラード)						
ディスク 最大容量	3.3TB ※2			4.3TB ※2			4.6TB ※2			
内蔵I／O 標準搭載	3.5インチフロッピーディスク、DVD-RAM									
内蔵I／O オプション ※3	LTO4									
最大回線数	4	8	12	16			20			
無停電電源装置(UPS)	標準搭載									
設置諸元 外形寸法 幅×奥行×高	〈1,200mmラック〉600×900×1,200mm 〈2,000mmラック〉600×900×2,000mm									
設置諸元 質量	〈1,200mmラック〉最大310kg 〈2,000mmラック〉最大360kg						〈1,200mmラック〉最大400kg 〈2,000mmラック〉最大450kg			
設置諸元 騒音値	40.9dB ※5／50.4dB ※6						48.4dB ※5／52.0dB ※6			
設置諸元 消費電力量	最大263W						最大498W			
設置諸元 発熱量	最大947kJ／h						最大1,793kJ／h			
設置諸元 コンセント 定格・形状	〈1,200mmラック〉125V／15A:2P接地型 〈2,000mmラック〉125V／30A:3P引掛型 ※8						125V／30A:3P引掛型 ※8			
エネルギー消費効率 ※7 2011年度基準	2.1 (L区分)	2.0 (L区分)	2.2 (L区分)		2.9 (L区分)		2.3 (L区分)	2.0 (L区分)	2.2 (L区分)	2.4 (L区分)

※1 2GB以上はメモリディスク制御オプション使用時。3.5GBから4.0GBの間(0.5GB)のメモリは使用できません。 ※2 ディスクアレイ装置接続時。 ※3 DATオプションの提供は終了しました。 ※4 UPS接続時。 ※5 基本構成時。 ※6 増設ディスクユニット2台接続時。
※7 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位:ギガ演算)で除したものです。 ※8 コンセントはNEMAL5-30規格。分電盤へ直接接続可能。

ペディスタルモデル

6380

6580／6780

ラックマウントモデル

6580

1,200mmラック
増設ディスクユニット搭載時

6780

2,000mmラック
増設ディスクユニット／LTO搭載時

6980

2,000mmラック
増設ディスクユニット／LTO搭載時

■使用環境:周囲温度10〜35℃、湿度20〜80%(ただし結露しないこと)
■商品には定期的に交換が必要な部品が含まれています。交換には別途費用がかかります。
■商品の保守サポート期間は、5年間です。
■本製品は日本国内仕様です。当社では本製品に対する海外での保守サービス、技術サポートおよび輸出に関する対応は行っておりません。
■当社からお客様指定場所へ機器を納入する場合、別途配送料が必要となります。なお、配送料の詳細につきましては、当社営業または販売パートナーまで、お問い合わせください。

⚠ 安全に関するご注意
ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源・電圧でお使いください。

※UNIXは、米国ならびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。 ※Microsoft、MS、Windows、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※Microsoft Excel、Accessは、米国マイクロソフト社の商標です。 ※Intel、Xeonは、米国インテル社の登録商標です。
※OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。 ※その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。

●廃棄の際のハードディスク内データ消去について
ご使用になっていた PRIMERGY 6000を廃棄する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。
(詳細につきましては、「http://jp.fujitsu.com/platform/server/news/2003/0909.html」をご覧ください)

クラス1レーザ製品
PRIMERGY 6000シリーズは、クラス1レーザを使用しています。

富士通の環境についての取り組みの詳細は、富士通ホームページ「環境活動」をご覧ください。
http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/

■このカタログは、2015年8月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。 ■印刷の都合によりカタログの商品写真と実物では色彩が異なる場合があります。
■このカタログには、FSC®森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口)
0120-933-200
受付時間9:00〜17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

http://www.fujitsu.com/jp/primergy6000/
PRIMERGY 6000に関するお役に立つ情報が掲載されております。

CE1146-8 2016年3月M

FUJITSU

FUJITSU Server PRIMERGY(プライマジー) 6000
オフコン

JOC・JPC／東京2020ゴールドパートナー
(データセンター)

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

情報を活かしビジネスを拡げる
FUJITSU Server PRIMERGY 6000

お客様資産を活かし、
オープンサーバと連携したソリューションを提供

PRIMERGY 6000は、情報システムの中心となる業務システムを強力にサポートするビジネスサーバです。
インターネットや無線LANなどの普及により、企業を取り巻くビジネス環境が大きく変化しつつあります。企業の情報システムも、これらの環境変化に柔軟に対応していくことが求められます。
また、企業活動を支える業務システムには、システムの安定稼働を支える高信頼性や業務拡大に柔軟に対応できる高い処理能力、蓄積された情報を継続して利用できる互換性・資産継承性も必要です。
PRIMERGY 6000は、KシリーズやGRANPOWER6000シリーズで培ってきた豊富な実績と最新テクノロジーを結集し、業務システムに求められる最適なソリューションを提供します。

ペディスタルモデル　1,200mmラック　2,000mmラック

ラックマウントモデル

オープンサーバとデータ連携、情報活用を実現

PRIMERGY 6000は、オープンサーバとのデータ連携や、業務データの流通形式への変換を実現する、多彩な連携機能を提供します。
また、多様化する業務や基幹データを不正なアクセスから守るため、システム利用者の操作を記録する機能を提供します。

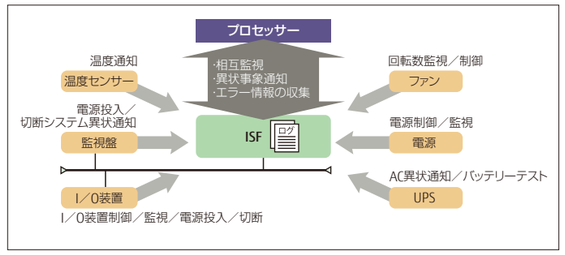
消費電力を最大約50%削減

PRIMERGY 6000は、インテル®Xeon®プロセッサーにより自動的にプロセッサーやメモリを最低消費電力状態に設定することで、パフォーマンスへの影響を最小限に抑えながら消費電力を削減します。(従来モデルとの比較において)

高信頼性

システム監視機構(ISF)

CPUから独立した専用プロセッサーによるシステム監視機構により、高い信頼性を実現します。システム監視機構は、本体装置の温度異常、ハードウェア異常、周辺装置の電源電圧などを監視します。



データベース Symfoware6000

Symfoware6000は、メモリを利用した共用バッファ制御により高速なデータアクセスを実現しています。万一、データファイルが破損した場合には、システム異常前の共用バッファを元に、高速にデータを修復する即時リカバリー機能を装備しています。

SupportDeskのリモート通報機能

FUJITSU Managed Infrastructure Service SupportDeskのリモート通報機能により、予兆／異常情報をOSC*に通報することで、トラブルの未然防止や早期発見が可能となります。本機能はSupportDesk Standardサービスをご契約いただき、LAN端末やメール環境を用意していただいて、お客様のサーバとOSCを接続することでご利用いただけます。

*One-stop Solution Center 富士通サポートセンター

高性能

高速プロセッサーを採用

PRIMERGY 6380／6580／6780／6980の全モデルにインテル® Xeon®プロセッサーを採用しています。最上位モデルPRIMERGY 6980タイプ3／4に採用しているインテル® Xeon®プロセッサーでは、1つの物理CPUパッケージに複数のコアを搭載したCPUを2個装備しており、多重処理において大きな効果を発揮します。

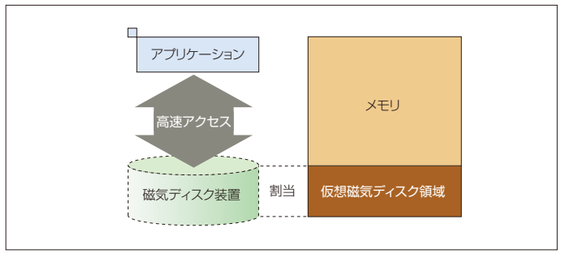
OOCT／OCT (動的オブジェクト変換)機構

CPU動作時に発生するさまざまな実行命令を動的に一括変換し、最適なバッファリングを行うことで、アプリケーション実行時の処理時間を飛躍的に短縮しました。 PRIMERGY 6780タイプ1、タイプ2にはOCT、PRIMERGY 6780タイプ3やPRIMERGY 6980にはOOCTを標準装備しています。

※OCT: Object Code Translation
※OOCT: Optimized Object Code Translation

メモリディスク制御

メモリの空き領域は、最大16GBを仮想磁気ディスク領域として使用できます。これにより、利用者プログラムを変更することなく、システムのトータルスループットを向上できます。



資産継承

オペレーティングシステム ASP

PRIMERGY 6000のオペレーティングシステムASPは、お客様の既存資産を完全継承します。さらに、インターネット／イントラネットに対応した業務システムを構築する充実した機能を持ち、容易な運用性を実現します。またFUJITSU PC LIFEBOOK／ESPRIMOとの連携やFUJITSU Server PRIMERGY、UNIXサーバおよびFUJITSU Server GSシリーズとのサーバ連携が可能です。

COBOL G

ASPで動作しているCOBOLアプリケーションが再コンパイルなしに動作します。ASPのCOBOL Gは、COBOL言語で記述されたプログラムの翻訳・実行・デバッグを行います。言語仕様は、電子計算機プログラム言語COBOL JIS X 3002-1988(JIS規格COBOL)に準拠しています。

お客様資産を活かす PRIMERGY 6000

企業のITシステムは、導入や運用のコスト削減、法制度への対応、セキュリティ強化が求められています。
PRIMERGY 6000は、KシリーズやGRANPOWER6000シリーズから長年培ってきた豊富なお客様資産を活用できます。
既存資産をそのまま活用し、K専用端末の操作性をパソコン端末に継承でき、
Webブラウザを利用したシステムも構築できます。
また、不正アクセスの抑止、利用者の操作記録といったセキュリティの基盤機能をご利用いただけます。

端末業務

専用端末と同等の操作性 Kシリーズ端末エミュレータ

Kシリーズ端末エミュレータは、K専用端末と同様の機能をLIFEBOOK／ESPRIMOで実現します。さらに、K端末エミュレータキーボードをご利用いただくことにより、K専用端末と同様の操作性を実現します。

タブレットのWebjet
表示画面（イメージ）

エミュレータ環境をそのままWeb化 Webjet

アプリケーションには一切手を加えることなく、パソコンのWebブラウザでPRIMERGY 6000の業務処理を行えるソフトウェアです。パソコンのセットアップやバージョンアップ作業も不要となり、システムの保守性と運用性が大幅に向上します。Webjetキーボード機能※はWindowsタブレットやパソコンのWebブラウザ上で、タッチ操作やマウス操作によるデータ入力を実現します。キーボードや入力文字の割付は容易に追加や変更ができますので、データ入力が簡単になり、操作性が向上します。
（※ASP V29以降で対応）

Webjetタッチ操作キーボード

また、WebjetAutoGUIオプションにより、従来の業務画面を見易い立体的な画面に変換してWebブラウザに表示できます。

画面をよりビジュアル化 MeFt／Web Pro

COBOLアプリケーションの画面入出力、および帳票出力をパソコンのWebブラウザで実現するソフトウェアです。K-WindowsⅡを利用しているCOBOLアプリケーションは手を加えることなく容易にWeb化を実現できます。
さらに、Webブラウザ表示用のHTMLデータを作成でき、自由にカスタマイズして、表現力豊かな業務画面を表示できます。

MeFt／Web Pro表示画面

帳票業務

帳票の電子化 Systemwalker ListWORKS

業務で使用している帳票業務プログラムを修正することなく、スプールに出力された帳票を電子化し、パソコンのWebブラウザで、参照や加工、および保管ができるソフトウェアです。電子データとして宛先フォルダに格納したり、PDFファイルに変換してメールを送信したりすることで、用紙や印刷コストを削減できます。
また、PRIMERGY（PCサーバ）のFUJITSU Software Interstage List Worksと連携することにより、帳票仕分け処理の負荷分散と情報漏洩対策を強化できます。

ListWORKSによる帳票表示

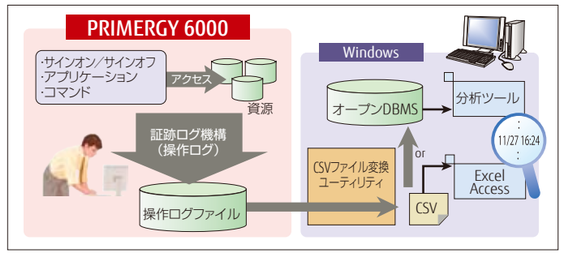
帳票をインターネットで流通 PDFファイル生成オプション

PDFファイル生成オプションは、PRIMERGY 6000の印刷データをPDFファイルに変換するソフトウェアです。利用者定義文字やオーバーレイパターンも変換可能であり、インターネットを介して帳票を広く流通できます。
また、別製品の「ネットワークセキュリティ」では、PDFファイルを暗号化することで、インターネット環境においてもセキュリティで保護された帳票データの流通を実現します。

運用・開発

運用の正確性・妥当性を証明するモニタリング基盤 証跡ログ機構

証跡ログ機構は、システム利用者の操作を記録するソフトウェアです。日々の運用の正確性・妥当性を第三者に証明できます。さらに、不正操作や情報漏洩の抑止効果が期待でき、問題発覚時の証拠になります。



不正アクセスを抑止 認証機能

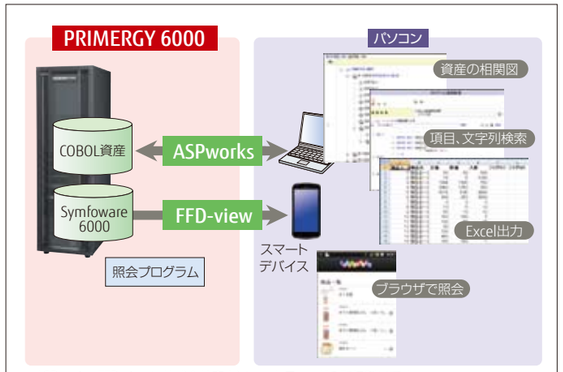
パスワード最大文字長の拡大や、有効期限の設定など、パスワードの管理機能が強化されました。また、認証エラー回数の監視機能やサインオン端末の特定機能により不正アクセスを抑止できます。

ASPのアプリケーション資産を変換 リソースコンバータ

ASPのアプリケーション資産をパソコンで扱える形式に変換できます。原始プログラムやファイル定義体、画面定義体を変換できます。

COBOLプログラム資産の管理と開発支援パッケージ ASPworks、FFD-View

ASPworksは、パソコンのブラウザ操作で、COBOLプログラム資産の関連を表す相関図の表示や、項目名や文字列検索で修正箇所を表示することで資産の管理と開発を支援します。また、データベースから必要なデータだけをCSVファイルに変換することにより、Microsoft® Excel®に表示ができ、業務運用で利用できます。
FFD-Viewは、スマートデバイスのブラウザでデータベースのデータを照会できるプログラムを作成できます。これにより開発工数の削減が図れます。



※ASPworks、FFD-viewは株式会社富士通マーケティングの取扱製品です。

ストレージ製品の利用

ETERNUS（エターナス）制御オプション

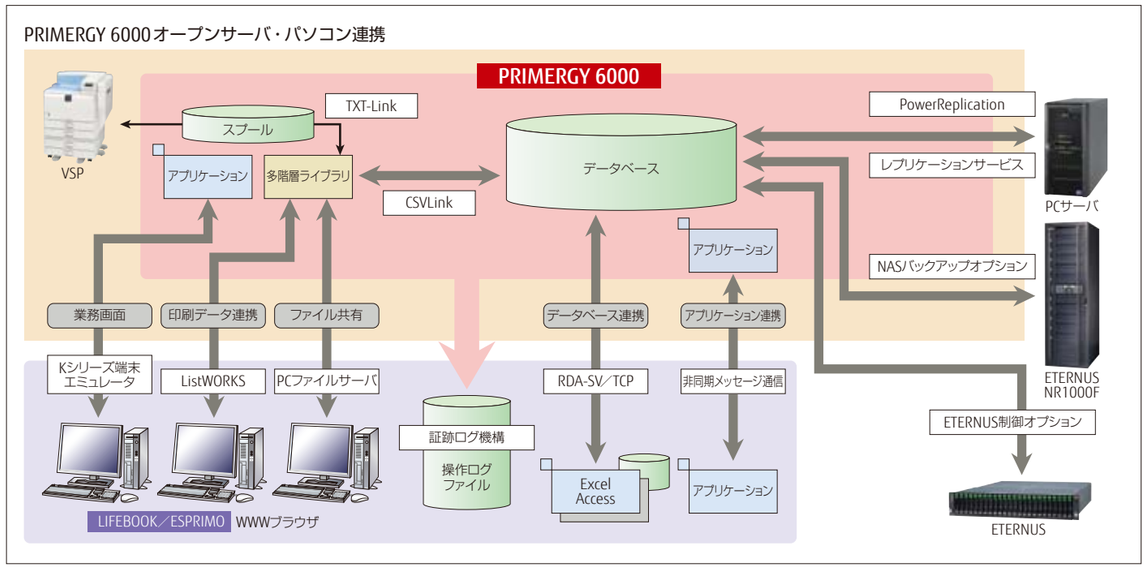
高度な信頼性と拡張性を備え、蓄積されているデータを統合的・効率的に管理できるストレージシステムFUJITSU Storage ETERNUS。PRIMERGY 6000とファイバーチャネルで接続し、ディスク装置やバックアップ装置として利用できます。また、PRIMERGY（PCサーバ）と共有できます。

バックアップで安心 NASバックアップオプション

日々の取引データなど、PRIMERGY 6000の重要な資産をネットワークディスクアレイETERNUS NR1000Fにバックアップできます。システム管理者の退避媒体交換などの作業軽減や、ネットワーク内の各種サーバのバックアップデータの一元管理が実現できます。

オープンサーバ・パソコンと連携する PRIMERGY 6000

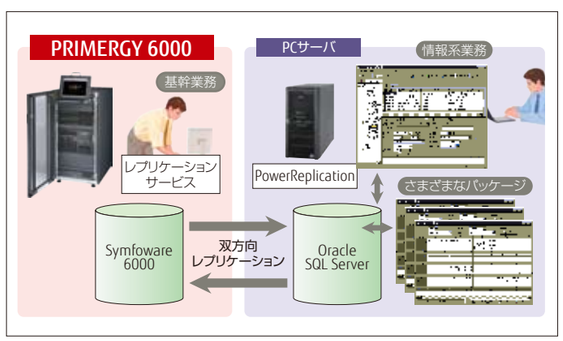
PRIMERGY 6000は、Windows、UNIXなどのオープンサーバやパソコンとの多彩な連携機能を提供します。これらの連携機能を活用することにより、オープンサーバとのデータ連携やアプリケーション連携、データベースのレプリケーションなどが行えます。また、業務データや帳票をインターネットで流通する各種の形式に変換することにより、取引先とのデータ受け渡しや営業所でのデータ活用などが行えます。



データベースやアプリケーションの連携ソリューション

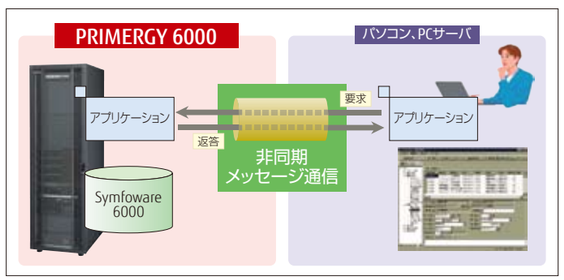
データベースのデータを同期 レプリケーションサービス、PowerReplication

レプリケーションサービスは、PRIMERGY 6000同士やPCサーバのデータベースとの間で自動的にデータ同期を実現します。
FUJITSU Software PowerReplicationは、PCサーバで動作しOracle、またはSQL Serverのデータベースと PRIMERGY 6000のデータベース間でレプリケーションを実現します。
レプリケーションにより、プログラム開発することなくサーバ間のデータの受け渡しができます。 さらに、PCサーバの豊富なパッケージや情報系ツールを利用してPRIMERGY 6000のデータ参照・更新処理や高度なデータ分析が実現できます。



パソコンやPCサーバとアプリケーション連携 非同期メッセージ通信

非同期メッセージ通信（ACMSERVER）により、PRIMERGY 6000のアプリケーションとパソコンやPCサーバのアプリケーションがメッセージ通信で連携するシステムを構築できます。アプリケーションのインターフェースはACM会話サービスを採用しており、既存の業務プログラムを活用できます。



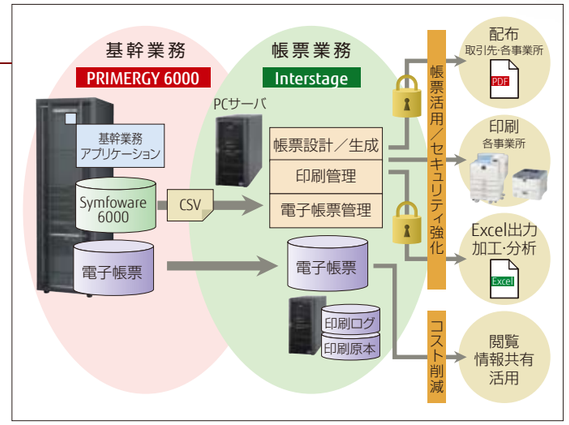
業務データに直接アクセス RDA-SV／TCP

RDA-SV ／TCPにより、データベースに蓄積された業務データをMicrosoft® Excel®、Microsoft®Access® などから検索や更新ができます。また、ODBCに対応したソフトウェアからもアクセスができます。

帳票の連携ソリューション

電子帳票をPCサーバに転送 Systemwalker ListWORKS連携オプション

PRIMERGY 6000では基幹業務を実行し、PCサーバで帳票の設計や生成、さらに電子帳票の一元管理を実現できます。
Systemwalker ListWORKS EE※では電子帳票がPCサーバに即時に転送され、リアルタイムで電子帳票が参照できます。また、FUJITSU Software Interstage製品の印刷機能を利用することで、支店などのプリンタにも帳票をすぐに印刷できます。（※ASP V29以降で対応）
PRIMERGY 6000のSystemwalker ListWORKS EEとInterstage製品を組み合わせてシステムを構築できます。



業務データの流通ソリューション

CSVファイルによる業務データの流通 CSVLink

CSVLinkは、データベースのデータをCSV形式のファイルに変換したり、CSV形式のファイルをデータベースに反映したりするソフトウェアです。
業務データをCSV形式に変換することにより、Microsoft® Excel®、Microsoft®Access® などでのデータ利用やオープンサーバとのデータ連携、業務データの集信、配信などを自在に行えます。

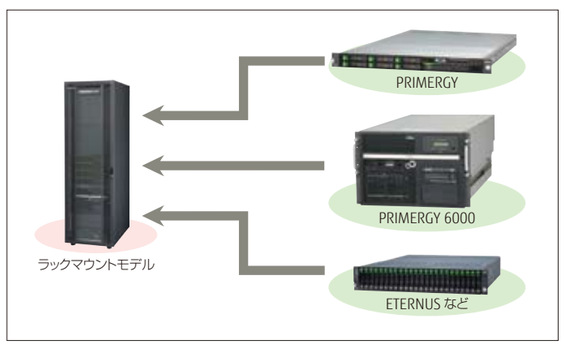
テキストによる印刷データの流通 TXT-Link

TXT-Linkは、PRIMERGY 6000の印刷データをテキストファイルに変換するソフトウェアです。変換規則を定義することにより、印刷データをCSVファイルにも変換できます。変換されたデータは、パソコンのテキストエディタやMicrosoft® Excel®などで利用できます。
クライアント／サーバ型の運用形態では、パソコンのコマンドプロンプト画面から表示／印刷系コマンドを指定することで、コマンド起動、印刷データ変換、およびテキストファイル取り出しの一連動作を実行します。

ファイルの共有を実現 PCファイルサーバ

PCファイルサーバは、PRIMERGY 6000の多階層ライブラリをパソコンのネットワークドライブとして共有できるソフトウェアです。
CSVLink、XML-Link、TXT-Link、PDFファイル生成オプションなどで変換したデータをPRIMERGY 6000から取り出したり、パソコン資源をPRIMERGY 6000に格納したりできます。

カスタムメイドプラス

システム導入支援サービス カスタムメイドプラス

カスタムメイドプラス（PRIMERGY 6000）は、お客様のシステム導入を支援するサービスです。お客様先への納品前に、カスタムメイドプラスセンターでラックへの搭載やソフトウェアのインストールを実施します。1台のラックに、PRIMERGYやETERNUSを混在搭載し、省スペース化を実現します。また、ソフトウェアインストールサービスを合わせて提供し、システムの確実な導入を支援します。